

商品名 オースギ麻杏甘石湯エキスG 医薬品基本情報

薬効	5200 漢方製剤	一般名	麻杏甘石湯エキス顆粒
英名	OHSUGI makyokansekitō extract G	剤型	顆粒
薬価	11.90	規格	1g
メーカー	大杉製薬	毒劇区分	

オースギ麻杏甘石湯エキスGの効能・効果

気管支ぜんそく、小児ぜんそく

オースギ麻杏甘石湯エキスGの使用制限等

1. 胃腸虚弱、悪心、嘔吐、食欲不振、発汗傾向の著しい、狭心症又はその既往、心筋梗塞又はその既往、循環器系障害又はその既往、重症高血圧症、排尿障害、甲状腺機能亢進症、高度腎障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

オースギ麻杏甘石湯エキスGの副作用等

1. 低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム貯留、体液貯留、浮腫、体重増加、偽アルドステロン症	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 低カリウム血症、ミオパチー、脱力感、四肢痙攣、四肢麻痺	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. 不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮、食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、軟便、下痢、排尿障害	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
4. 食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、軟便、下痢、発汗過多、全身脱力感	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

オースギ麻杏甘石湯エキスGの相互作用

- 薬剤名等：マオウ含有製剤

発現事象	動悸、頻脈、不眠、精神興奮、全身脱力感、発汗過多	投与条件	-
理由・原因	交感神経刺激作用が増強	指示	慎重投与

2. 薬剤名等：エフェドリン類含有製剤

発現事象	動悸、頻脈、不眠、精神興奮、全身脱力感、発汗過多	投与条件	-
理由・原因	交感神経刺激作用が増強	指示	慎重投与

3. 薬剤名等：モノアミン酸化酵素阻害剤

発現事象	動悸、頻脈、不眠、精神興奮、全身脱力感、発汗過多	投与条件	-
理由・原因	交感神経刺激作用が増強	指示	慎重投与

4. 薬剤名等：甲状腺製剤

発現事象	動悸、頻脈、不眠、精神興奮、全身脱力感、発汗過多	投与条件	-
理由・原因	交感神経刺激作用が増強	指示	慎重投与

5. 薬剤名等：カテコールアミン製剤

発現事象	動悸、頻脈、不眠、精神興奮、全身脱力感、発汗過多	投与条件	-
理由・原因	交感神経刺激作用が増強	指示	慎重投与

6. 薬剤名等：キサンチン系製剤

発現事象	動悸、頻脈、不眠、精神興奮、全身脱力感、発汗過多	投与条件	-
理由・原因	交感神経刺激作用が増強	指示	慎重投与

7. 薬剤名等：カンゾウ含有製剤

発現事象	低カリウム血症、偽アルドステロン症、ミオパチー	投与条件	-
理由・原因	グリチルリチン酸は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進	指示	注意

8. 薬剤名等：グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤

発現事象	低カリウム血症、偽アルドステロン症、ミオパチー	投与条件	-
理由・原因	グリチルリチン酸は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.